

成果と課題

	成果	課題
授業実践を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・トリオトークを用いたことで、多くの児童間で意見交流ができた。少人数（3人）にすることで、話し合いの必然性ができ、自分から意見を言いやすい環境づくりをすることができた。また、3回のローテーションをしたことで、自分の意見に自信をもつことができた。 ・ワークシートがあることで、話型を示したことで叙述に沿って書きやすくなっていた。特に、自分の意見を書くことが苦手な児童は、ワークシートがあることで、書き方や伝え方に自信をもてた。 ・ワークシートの気持ちメーターを用いたことで、文章中で自分の考えを書くことが苦手な児童でも、心メーターに印をつけ、自分の思いを伝えることができた。 ・振り返りの「深まった」の例が具体的だったので、自分の考えの変容を意識して活動することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体共有の場の時間が短かった。 ・自力解決（1人）の時間を増やすと、もっと内容が深まったかもしれないが、時数を大幅に超過してしまう恐れもあり難しかった。 ・根拠となる場面は6場面だけではないので、授業の際に「ほかの場面からも理由を見つけてもよい。」と教師から声をかけてから、自力解決の時間を設けて全体の文章を振り返れるようにすれば良かった。 ・気持ちメーターの、始めと終わりで貼りなおして比較できるとよかった。
アンケート結果を受けて	<ul style="list-style-type: none"> ・国語好きが増え、国語嫌いが減った。 ・書くことに関して、「ほとんど書かない」と回答した児童が減った。 ・「自分の考えをもてる」と回答した児童が増えた。 ・思い付きではなく、「根拠をもって話せる」回答した児童が増えた。 ・叙述をもとに自分の考えを書くとき、全く考えようとしなかった態度から、考えようとする態度に変わった児童が増えた。 ・授業での発言が増えた。 ・ペアトークやトリオトークなどの伝え合い活動が活発にできるようになった。 ・3年生では「自分の考えが思い浮かばない」と回答した児童が減った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・叙述の内容は理解し、自分の意見はもてていても、それを文章にして書く力は弱い。 ・4年生では「自分の考えや思いが浮かばない」と回答した児童が増え、考えをもつことにまだ苦手意識を感じている児童もいる。